広報ひこね
通巻第1273号
（平成24年9月1日発行）
発行：彦根市
編集：情報政策課
●1日・15日発行

話題のひろば

「子ども国会」に参加児童が教育長を訪問

7月29日・30日に参議院（東京都）で開催の「子ども国会」に参加児童が、出発に先立ち教育長を訪問しました。

訪問したのは、若葉小学校6年生の津野あみるさん（写真右）と城西小学校5年生の野口七海（ななみ）さん（写真左）です。2人は「みんなの代表としてしっかり発言したいです」などと話していました。

全国から150人の児童が集まった「子ども国会」では、東日本大震災からの復興と未来について、家族、友達、地域、そして世界の人々との絆（きずな）について語り合いました。

Brasilへようこそ！

第35回　どんな飲み方をするの？ ブラジルのマテ茶

真夏の夕方、学校も仕事も終わった頃、みんなが家の前や庭に集まって、輪になって座り、手には牛の角で出来たコップ。（下の写真、左は茶葉）

こんな光景は、私の故郷マット・グロソ・ド・スール州でよく見られます。飲んでいるのはマテ茶に氷と冷たい水を注いだ「テレレ」という飲み物です。家庭だけではなく、大学などの休み時間の校庭でもよくある光景です。パラナ州でも同じような飲み方をするようです。

しかし、リオ・グランデ・ド・スール州では、同じマテ茶でも異なった飲み方をします。

ひょうたんで出来たコップに、マテ茶の葉を入れ、その中に、お湯を注ぐ、「シマホン」というものです。（右の写真）

これらの州で共通している点はお茶の葉をたっぷりと入れること、そして、特別なストローを使って、それを回し飲みすることです。違いは、コップの素材と、お湯で作ると「シマホン」と呼ばれ、水で作ると「テレレ」と呼ばれるところです。

味は、日本でペットボトルに入って市販されているマテ茶とはだいぶん違います。

私の地域では、このお茶にハーブを混ぜたり、ジュースを混ぜて甘くしたりすることもあります。あまりなじみのない飲み方かもしれませんが、一度チャレンジしてみませんか。

【彦根市国際交流員　平田エジナ】

▼「広報ひこね」は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。
▼廃棄する場合には古紙回収に出してください。
▼この「広報ひこね」は49,500部作成し、1部当たりの単価は10円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。
VEGETABLE OIL INK

光きらめく「真夏の夜の夢」

表紙の写真

8月6日から15日までの日没後、支所（田原町）やみずほ文化センターの周囲が色とりどりのLED（発光ダイオード）ライト約6万個で輝き、訪れた人の目を楽しませました。

稲枝地区青少年育成協議会が呼びかけ、稲枝中学校の生徒や先生、聖泉大学の学生など延べ約200人が3日がかりで飾りつけました。

「子どもたちに、学校でできない体験をさせたい」とさまざまな行事に取り組む同協議会では、「来年はさらに充実させたい」と意気込んでいます。

人口と世帯数

平成24年8月1日現在

人　口	112,529人	（－35）
男	55,627人	（－11）
女	56,902人	（－24）
世帯数	44,436世帯	（－17）

（　）内は前月との比較